

【特集】

SNSで飛び交う日本語

日本語でのソーシャルメディアの使われ方	吉田光男	4
「打ちことば」の特質	落合哉人	14
——分類と実態の解明——		
SNSにおける新たな文字表現	尾山慎	26
LINEにおける特徴的な表現	宮寄由美	40
——携帯メールからLINEへ——		
SNSにおけるなりすましの表現	中島紀子	54
日本語教育でSNSを使用する際に留意すべきこと	中西久実子	68
SNSからみる日中の社会文化的コミュニケーションの実践		
——WeChatとLINEの文字チャットを事例に——	儲叶明	80

【特集】

法のことば

判決文はやさしくなり得るか	永澤済	110
——日常と非日常の間で——		
家事調停における言語運用の実務的考察	大河原真美	122
法教育で国語科教育をつくり直す	札埜和男	134
——傍流からの企て——		

◎連載

【方言ほぐし系 3】方言は古語より出でて古語より古し	小林隆	39
【二次元世界のはなしかた 7】キャラクターのモデルから見た霊的事象の分類	金水敏	94
【日本語で生きる子どもたち 2】「一番、難しいのは…」	池上摩希子	102
【にほんごの航海灯 10】第三回中高生日本語研究コンテスト	山東功	104
【新刊クロースアップ】『ヘイトスピーチの何が問題なのか 言語哲学と法哲学の観点から』		
	本多康作	133
【ことばのことばかり 91】当た棒よ！	はんざわかんいち	147

[高等学校国語のカリキュラムの可能性 2]

国語が支える探究 探究が支える国語

——高校国語の出口としてのデジタル・シティズンシップ—— 笠原諭 148

* * *

[虎の門通信 165]「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」について 上月さやこ 156

[新刊・寸感]『論理的思考とは何か』ほか 相澤正夫 158

次号予告 160

●投稿規定

<http://www.meijishoin.co.jp/magazine>

【国語教育実践例】投稿規定……八〇〇〇字以内

国語教育に関する、投稿者独自の実践報告といたします。

一、採否は、小誌編集委員の審査により決定いたします。審査の結果は、採否にかかわらず、投稿受理の通知より三か月以内に、【採用】【修正再査読】【不採用】のいずれかをご連絡いたします。ただし、審査の内容は一切公表いたしません。

一、審査基準は以下の通りといたします。

・ 広く専門外の人々にも理解できるような平易簡明な内容、記述である。

・ 投稿者独自の実践に基づく。

・ 客観的事実に基づき明確な論旨である。

・ 先行研究を適切に参照している。

・ 根拠となる資料やデータを適切に示している。

・ 調査結果や情報が、十分に整理・分析されている。

・ 質・量ともに今後の研究の参考となる可能性が高い。

一、採用の場合、掲載誌三冊を進呈いたします。

一、不採用通知後の、同一テーマによる再投稿は受け付けません。

●投稿方法

住所、氏名、職業（勤務先・勤務校）、メールアドレスを明記のうえ、「日本語学」編集部にメールまたは郵便にてお送り下さい。なお、原稿は返却いたしません。